



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2622 回例会 10 月 4 日

地区ガバナー 中村 皇積 クラブ会長 志村 浩男

本日のプログラム

●米山奨学生 NGUYEN DOAN TRUNG HIEU 君 卓話

●会長の時間 志村 浩男 会長

本日の例会は米山奨学生の NGUYEN DOAN TRUNG HIEU 君に「ベトナム青年の国防意識について」の卓話をしていただきます。ベトナムは共産主義国で中国に接し長い歴史の中で緊張をしいられてきました。又ベトナム戦争では 20 年にわたる戦いの後アメリカに勝利しています。ある意味平和憲法を標榜し国防への意識がほとんどない資本主義国の日本とは対極にある国ではないかと思えます。HIEU 君の卓話により日本を相対的、客観的に振り返られればと思えます。又ロシアロータリアンとのコンタクトを開始するにあたりロシアウクライナ戦争やロシアの市民の考え方にも客観的に対応できるようになればと思えます。

それでは HIEU 君本日はよろしくお願ひいたします。

又ロシアロータリアンへのメール草稿を先日卓話をしていただいた小原さんの奥様エレナ様にロシア語に翻訳していただいています。翻訳でき次第ポストロータリークラブに送る予定です。草稿はホームページにアップしますので是非ご一読ください。

●2621 回例会 (9/27) ニコニコボックス紹介

古屋里 10 月 8 日 (日) 北ロータリー旗争奪ペタンク大会を新紺屋小学校で開催します。ふるってご参加下さい。

水上 先日の合同奉仕作業、いい経験となりました。

●2621 回例会報告

●22-23 年度グローバル補助金奨学生 田辺 愛莉 さん 卓話

2023 年 4 月～2023 年 5 月 報告書

4 月の下旬まで、学期末テストの期間だったため、ほとんどの時間を図書館か部屋で Essay の執筆をおこなっていました。それぞれ 5000 文字のエッセイを、4 月の 4 日に一つ、19 日に二つ、26 日に一つ提出し、無事、春学期のすべての期末テストの提出を終えることができました。今学期は、前学期と比べ課題の量が多かったため、時間の管理をいつもより厳しくしながら課題に取り組み、内容の質が高いエッセイを書くことができました。4 月の中旬には、卒業論文の計画書の提出が指定されていたので、卒業論文の内容のリサーチも少しずつ行っていました。また、これらの課題提出と同時進行で、就職活動も始め、応募した人権関連の団体でのグループディスカッションや、履歴書やカバーレターの作成を行っていました。

4 月 10 日には、授業以外の活動として行っていた、アジアカンファレンスの最後のランチ会があり、今まで一緒にカンファレンス運営に取り組んできた仲間とランチをしながら話し合いました。ロータリーの活動においては、ランチ会のお誘いがあったのですが、ロータリアンの方の体調が悪く延期となりました。今月は対面での面会はできなかったのですが、現地のロータリアンの方から、イー

スターのお祝いとしてイースターエッグを頂くことができ、イギリスの文化を体験する良いきっかけとなりました。

5月は夏休み期間となるため、授業などはなかったのですが、引き続き卒業論文の資料集めを行っていました。それに加え、論文の指導教員が5月の初旬ころに発表されたので、6月に向けて内容の絞り込みと、章の構成方法についてのリサーチも行っていました。アジアカンファレンスに関しては、カンファレンスの活動自体は終了していたのですが、報告書を5月23日までに作成する必要があったため、カンファレンスの内容を2000文字程度にまとめ、読者に読みやすいように調整を行っていました。5月14日には、現地のロータリーが連携して開催してるマラソン大会のサポーターとして参加しました。コルチェスター地域ではかなり大きめのマラソン大会で、多くのランナーに旗を振って誘導しました。現地の人々との交流を深めたいと考え、Essex大学が主催で運営している合唱部にも参加しました。参加者の90%近くが現地の人々だったため、お話を通して地域の習慣などに触れることができました。

6月は、本格的に卒業論文の執筆が始まり、指導教員とのミーティングを週に一度行いました。このミーティングでは論文の内容の細かい調整や文字数の設定、参照予定の文献の共有などを行いました。卒業論文の提出期限までは、まだ三か月ほどあるのですが、少しずつ準備していこうと思います。6月の下旬からは、アメリカのノースカロライナ州に本社があり、性暴力被害者に関連する活動を行っている OurWave という団体にて、ボランティアを始めました。このオンラインボランティアでは、資金調達者として財団や会社の募金活動に関する調べ情報をまとめることを業務として任されています。ロータリーの活動としては、6月9日に、現地ロータリークラブとの交流を行いました。この交流会では、地区の代表ロータリアンの方が交代するという事で、次期代表ロータリアンの方がメダルを渡される瞬間を見守りました。



概要・特徴	公益財団法人ロータリー日本財団および国際ロータリーのロータリー財団から支給される、ロータリーの重点分野に該当する大学院または相当研究機関での留学を支援する奨学金。グローバルなネットワークを形作る世界140万人のロータリー会員との交流を通じて世界で活躍する人材を育成します。重点分野に直接関連する履修コース、経験、留学後のキャリアプランを重視する。
カテゴリ	海外の大学・大学院への進学、社会人の留学、その他
国・地域	制限なし
支援スタイル	給付型奨学金(返済不要)
支援内容	1~4年の大学院または研究機関での留学にかかわる経費全般。 地区やクラブにより、留学期間、金額、その他の条件が異なる。最低支給額は3万米ドル。
留学開始時期及び留学期間	随時、留学開始後の申請も可。奨学金対象期間の就学や経費の支払いが開始される前に承認を得ていること。 なお、地区やクラブにより締め切りや制限を設けている場合がある。
応募要件	ロータリーの重点分野<基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、疾病予防と治療、母子の健康、平和構築と紛争予防、水と衛生、環境>に直接的に関連すること。重点分野の目的と詳細については、重点分野の基本方針< https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/areas-focus-policy-statements >を確認のこと。 ロータリーの会員とその配偶者または直系卑属は申請資格がない。 地区やクラブにより就業・就学・居住地のほか条件を設けている場合がある。
年齢制限	なし